

長谷川奈津展

林檎の花



料金後納
ゆうメール



長谷川奈津展 林檎の花

2018年4月21日(土)～29日(日) 会期中無休 11時～18時 作家在廊日 4月21日・22日

まもなく開花する薄紅色の林檎の花。寒さに耐えながら大きな実をつける樹木にしては、意外なほど控えめで清楚な花を咲かせます。林檎灰の釉薬を多く用いる長谷川奈津さんの慎ましくも芯のしっかりしたうつわの印象と重ね合えました。

まだうつわを見始めてまもない頃、無心で手にした器が長谷川さんのご飯茶碗でした。それは今迄見てきたものと違って、謙虚な美しさながら深く心に届く存在感がありました。同じ種類の器であっても、個々にじっくり見ていくと、その中に自分を待っていたような1点と出会う。道具としての用の美が尊ばれる頃でしたが、むしろそこに潜む造形の芯の強さに魅力を感じたのでした。

素材に逆らわず、自然性を引き出したうつわ。反復と新たな試み。毎年収穫する林檎も、その年ごとに採れる果実の色づきや甘みが異なるように、それぞれに微妙な変化があって、そこに蓄えられた奥行きこそが、実りの豊かさだと思うのです。長谷川さんのうつわも同様に、この基本的な向き合い方があり、それを確かなものにしていきます。劇的な変化よりも日々積み重ねた身近な中にごそ、本質的な美が宿ることに気づかせてくれるのです。

あれから十数年が経ち、うつわを取り巻く環境も大きく変化してきました。あらためて長谷川さんが、今何を考え、どこに向かっていくのか。それを知りたく今展をお願いしました。弊社にとってうつわの魅力の原点に触れる長谷川さんをお迎えできることは大きな喜びです。これを皆様とも共有したく思っております。ご来店をお待ちしております。 店主



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分
本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分
バス：駅東口3番乗場 [小江戸名所めぐり]～[喜多院前]
駅西口2番乗場 [小江戸巡回バス]～[喜多院]
車：ギャラリー専用の駐車場は北側(5～8番)

ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6
TEL 049-298-8715
MAIL utsumanote@gmail.com

長谷川奈津プロフィール

1967年 東京生まれ
1994年 東京芸術大学 大学院陶芸専攻終了
1995年 青木亮氏のもと工房で学ぶ
1997年 神奈川県津久井郡(現 相模原市)に築窯
2018年 現在同地で作陶